

第2回

Japa フォーラム

地方創生の課題その2

2018年10月10日

主催：*Japa* 日本専門家活動協会

Japan Association for Professionals' Activities

協賛：青山学院Hicon

開催のご挨拶

■ Japaフォーラム開催の趣旨

- 「地方創生」は多様な分野に跨がる**横串的テーマ**であり、**長期的自律的持続性（エコシステム化）が問われるテーマ**である。このため、地方／民主導型で多様な分野の専門家、実務家、行政担当者が集い、議論し、智恵を出し、実行することが必要。
- これは、まさに**Japaのめざすところ**であり、多様な視点から、地方創生を捉え直し、**真の地方創生に繋がるソリューション提案をめざして**、シリーズ開催を予定。

専門家個人が専門家として
居場所を得て活躍できる社会づくりをめざして

日本専門家活動協会は
既往の分野・組織・枠組み・年齢・地域を越えて
専門家が集い *Social Collaboration Networking* する
プラットフォームです

「地方創生の課題」シリーズの背景・論点提起

- そもそも「地方創生」とは何か
- 「地方創生」の目的、目標（Goal）は何か
- 何ををもって「地方創生」が成功したと云えるのか
- **地方創生の真の課題は何か**
 - 多様な視点からの具体的な事実に基づく論点提起、課題抽出
※真の課題が明らかになれば、ソリューションは自ずと
- 真の「地方創生」の実現に向けてのソリューションは何か
 - “東京 vs 地方” と云う対立概念を超えた**地方/地域創生論**
 - 地方が特化した領域でダイレクトに世界と繋がる
→ **地方発のリバースイノベーション** → **日本の再活性化策**

第1回Japaフォーラムの論点提起

小畑 喜一氏 日本専門家活動協会 理事 (**海外事例**の視点から)

室田 昌子氏 東京都市大学 教授 (**空家問題**等の視点から)

玉木 欽也氏 青山学院Hicon代表取締役・青山学院大学経営学部教授
(**着地型観光**の視点から)

富田 剛史氏 トミタプロデュース(株) (**プロデュース**の視点から)

本日の第2回Japaフォーラムの進行

■ 15:00～15:05 挨拶（テーマ背景説明等）

芝原 靖典 日本専門家活動協会 代表理事 ※以降の司会進行

■ 15:05～16:05 自己紹介&各視点からの論点提起 3名@20分

佐竹 弘 [Japa理事、元産学連携学会会長・徳島大学教授]

学の視点から、**産学連携**を例とした地方創生への論点提起

伊藤 一久 [糸魚川信用組合 まちづくり推進室 室長]

産・金の視点から、**復興とまちづくり**を例とした地方創生への論点提起

田上 聖子 [熊本市東京事務所長、熊本国際スポーツ大会東京営業本部長]

自治体の視点から、**復興・スポーツ開催**を例とした地方創生への論点提起

■ 16:05～17:00 論点提起者と参加者を交えた討議

[15分間 休憩、会場再設営]

■ 17:15～18:30 懇親会